

## 「BEYOND AWARD 2018」審査員一覧

敬称略・各区分において五十音順

専門家 (絵てがみ)	おぎ なおき 尾木 直樹	尾木ママ・教育評論家
	なばた としたか	イラストレーター
専門家 (音楽パフォーマンス)	きさらぎ あいり 如月 愛里	シンガーソングライター
	パイヤ すずき パイヤ 鈴木	振付師・タレント
	まつした いさお 松下 功	東京藝術大学副学長、東京 2020 大会組織委員会「文化・教育専門委員会」委員
パラアスリート	うえはら だいすけ 上原 大祐	パラアイスホッケー
	せりゅう もにか 瀬立 モニカ	カヌー
	みねしま やすし 峰島 靖	ウィルチェアーラグビー

※ ほかに、絵てがみ部門の専門家 1 名及び東京都職員数名が加わる予定です。

## 「BEYOND AWARD 2018」審査員プロフィール

※敬称略・各区分において五十音順

< 専門家（絵てがみ部門） >

○ おぎ 尾木 なおき 直樹 （尾木ママ・教育評論家）



1947年・滋賀県生まれ。教育評論家。中学、高校の国語教師を22年間務めた後、大学教員に転身して22年教壇に立つ。法政大学教授を経て現在は特任教授。臨床教育研究所「虹」所長として教育・子育てに関する調査・研究、評論活動を続ける。「尾木ママ」の愛称で親しまれ、Eテレ「ウワサの保護者会」やフジテレビ系「ホンマでっか!?TV」など多数のテレビ番組で活躍中。

○ なばた としたか （イラストレーター）



1977年石川県金沢市生まれ。  
2006年に初の絵本「こびとづかん」を発表。  
同シリーズ（7冊）の累計は現在累計270万部（国内）を超え、アジアを中心に海外でも人気が高まっている。

現在は同シリーズの本の制作を中心に、イラスト、映像と幅広く活動している。

2018年は一番人気のキャラクター「カクレモモジリ発見10周年」を迎え、5月に最新刊絵本「こびと桃がたり」を刊行。こびと研究の第一人者。

< 専門家（音楽パフォーマンス部門） >

○ <sup>きさらぎ</sup>如月 <sup>あいり</sup>愛里 （シンガーソングライター）



静岡県富士市出身

月の歌声を持つシンガーソングライター。

2017年 東京都主催「BEYOND AWARD 2017」最優秀賞を獲得、小池知事より表彰され、各ニュースに取り上げられる。

現在までに4枚のミニアルバムを自主制作で発売。1stフルアルバム、1stシングルを全国リリース。関東を中心に地元静岡、大阪、名古屋、仙台など各地のイベントに参加し、活動中。

○ <sup>すすき</sup>パパイヤ 鈴木 （振付師・タレント）



幼少の頃より父親のラテン音楽を聴き、越路吹雪を唄う！山本リンダを真似れば心ここにあらず、気がつけば踊っていた！

東京都出身。高校時代はバンドで米軍キャンプをまわる。17歳の時、ポリドールより「ダンシングゼネレーション」でレコードデビュー。16～21歳までの間、ダンサーとして活動。東京ディズニーランドを最後に振付師になる。1986年、CBSソニー（現ソニーミュージックエンタテインメント）で振付、タップダンスのインストラクターを務める。1998年、パパイヤ鈴木とおやしダンサーズを結成。2000年、初の全国ツアー「DISCO de おやし」では1万5千人を動員、秋の学園祭ミュージシャン部門で最多出場となる。おやしダンサーズ以外でも、TV出演の他、振付師・タレント・俳優など幅広く活躍。近年では「ダンス向上委員会」「SEVEN SAMURAI」などの公演で、ダンサーとしても精力的に活動。2009年、NHK大河ドラマ「天地人」出演をきっかけに33kgのダイエットに成功し、著書「デブでした。」が大ヒット。2012年には映画コメンテーター・LiLiCoとのデュエット曲「飲んで飲んで」もリリース。

- <sup>まつした</sup> 松下 <sup>いさお</sup> 功（東京藝術大学副学長、東京 2020 大会組織委員会「文化・教育専門委員会」委員）



東京藝術大学副学長、東京藝術大学演奏藝術センター教授。作曲家。指揮者。日本作曲家協議会会長。2020 東京オリンピックパラリンピック文化評議委員。

東京藝術大学、同大学院修了。ベルリン芸術大学に留学。

以後 1986 年までベルリンに滞在し創作活動を行う。1986 年、第 7 回入野賞受賞。1998 年に長野冬季オリンピック文化プログラム・オペラ「信濃の国・善光寺物語」や開閉会式選手入場の音楽を作曲。2000 年、和太鼓協奏曲「飛天遊」が、ベルリンフィル・サマーコンサートで演奏され好評を博す。1999 年～2004 年、2014 年～再び、アジア作曲家連盟会長を務める。

## <パラアスリート>

### ○ <sup>せりゅう</sup> 瀬立 モニカ (カヌー)



東京都出身。筑波大学体育専門学群在学（現在休学中）

江東区カヌー協会所属。パラカヌーのクラスはKL1

中学生の時にカヌーを始める。高校1年生の体育の授業中の怪我が原因で車いす生活となる。

その後、江東区カヌー協会の監督からの勧めでカヌーを再開する。

16年パラリンピックリオデジャネイロ大会から正式採用されたカヌー競技に日本で初めて出場し、200mスプリント女子KL1クラスで8位入賞。

※ <sup>うえはら</sup> 上原 選手（パラアイスホッケー）・<sup>みねしま</sup> 峰島 選手（ウィルチェアラグビー）のプロフィール及び審査員からのメッセージは、順次、「BEYOND AWARD 2018」特設ページに掲載します。

（「BEYOND AWARD 2018」特設ページ：<https://www.para-sports.tokyo/award/>）